

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

～GLOBALG.A.P.およびASIAGAPダブル認証を生かした農業経営力強化と
お客さまに届ける安心安全な柑橘生産を目指して～

<基本情報>

所在地:愛媛県八幡浜市

設立:平成26年7月

資本金:9,990千円

構成員:役員1名、社員8名

<経営概要>

経営面積:2.9ha(7筆)

主要作物:柑橘類(5品種)

販売先:インターネット、
百貨店、空港、スーパー他



代表(前列左2)、スタッフ一同

<GAPの取組状況>

コンサルタントを利用せずに、独学でGAPを取得。
自社用のGLOBALG.A.P.チェックシステムを開発し、
資料作成等準備に係る時間を大幅に短縮。

平成26年 7月 JGAP指導員資格を取得。

平成27年 1月 JGAP認証を取得。

同年 同月 みかん・柑橘類で国内初のGLOBALG.A.P.認証
を取得。以後、認証更新継続中。

平成28年11月 JGAP Advance認証を取得(みかん・柑橘類で
国内初となる認証取得)。

平成29年12月 ASIAGAP Ver.2認証を取得(同上)。

<経営改善>

- ① 自社用のGLOBALG.A.P.チェックシステム(GAP取得に関する事務処理ソフト)を開発し、資料作成等の準備に係る時間を大幅に短縮しており、更新に役立っている。さらに、自社の就業状況や備品等の在庫管理、業務関係改善提案などもそのソフトに含めることで、PDCAサイクルを推進する中心的ツールとして活用している(システム導入後、経費を50%節約)。
- ② GLOBALG.A.P.認証を取得したことで、アグリフードEXPO大阪・東京、FOODEX JAPAN、地方銀行フードセレクション等へ出展した際、同社が生産・加工した商品が高く評価され、大手スーパーをはじめ、法人向けの売上が倍増(H27→H28)。
- ③ 業務の見える化、標準化、マニュアル化を推進することにより、社員一人一人に農業経営参画の意識が高まってきており、経営改善に向けた提案が出されるようになった。



<GAPの普及に向けた取組>

講演会や発表会での講演やマスメディアによる情報発信、視察の受け入れ等GAPの普及活動を積極的に行っている。

今後は、自社が認証取得したフォーマットをベースに、安価で取り組みが容易な「GAP取得・更新システム」の開発を進めることで、GAPの更なる普及推進に貢献していきたいと考えている。